

令和2年度 キャリア教育全体計画

教 育 目 標
児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた適切な教育を行うことにより、その能力や可能性を最大限に伸ばし、地域社会の中で主体的に生きる力を育成する。
■
目指す児童生徒像
・目標に向かって意欲的、主体的に取り組める児童生徒 ・自分の良さに気付き、相手の良さを認められる児童生徒
■

学部別目標		
小学部	中学部	高等部
集団生活に必要な知識や態度を育てるとともに、基本的な生活習慣の確立を目指す。	学習を通して身に付けた知識や技能の定着を図り、実生活に活かそうとする態度を育てる。	卒業後の自立に向け社会生活や職業生活に必要な知識や技能及び態度を体験や実践を通して育てる。

キャリア教育の内容
①人間関係形成能力の育成(コミュニケーション、社会性、自他の理解、協力・共同) ②自己理解・自己管理能力の育成(コントロールする力、健全な心身) ③課題対応能力(夢をえがく力、目的のために頑張る力) ④キャリアプランニング能力(働く力、最後までやり続ける力)

		小学部	中学部	高等部
キャリア教育において育てたい力	① 人間関係形成能力	・簡単な指示を聞いて行動することができる。	・指示や説明を聞き取って行動したり、教師の支援を受けながら相手の気持ちを受け止めたりすることができる。	・相手の話す内容を適切に理解し、指示や意見を素直に受け入れることができる。
		・教師の支援を受けながら、謝罪を動作や言葉で伝えることができる。	・謝罪を動作や言葉で相手に伝えることができる。	・場や状況に応じて、感謝やいたわり、反省などの自分の気持ちを相手に伝えることができる。
		・大きな声で挨拶することができる。	・生活の中で必要な挨拶を習慣化することができる。	・場に応じた挨拶を意識して行うことができる。
		・丁寧な言葉の使い方をすることができる。	・教師に対して丁寧な言葉で話することができる。	・TPOに応じた言葉遣いができる。
		・自分の要求や拒否の気持ちを言葉やカード、動作等で伝えることができる。	・自分の気持ちや意思、意見や要望などを、感情や状態、動作などを表す言葉を用いて、順序立てて話すことができる。	・場や状況に応じた適切な方法で自分の意見や気持ちを伝えたり、筋道を立てて正確に話の内容を伝えたりすることができる。
		・身近な人の顔や名前が分かる。	・友達の良さを知り、関わりを持つことができる。	・他者の感情や長所を理解し、適切な対応がとれる。
	② 自己理解・自己管理能力	・活動に見通しをもち、落ち着いて過ごすことができる。	・活動に見通しをもち、落ち着いた態度で行動することができる。	・活動に見通しをもち、落ち着いた態度で作業をすることができる。
		・日常生活に必要な体力を身に付けることができる。	・働くために必要な基礎的な体力を身に付けることができる。	・学校を休むことなく登校するとともに、作業学習や校内実習を通して、フルタイムで働くために必要な体力を身に付けることができる。
		・身近な処理能力を高め、健康を保つことができる。	・基本的な生活習慣を身に付けるとともに、衛生面への気配りをするすることができる。	・疾病に対する知識を身に付け、衛生面に気を配り、体調を自己管理することができる。
		・好奇心を持っていろいろなことに自ら関わることで、興味・関心を広げ、いろいろな活動にチャレンジすることができる。	・自己の特性や興味・関心等に基づいて、よりよい選択をしようすることができる。	・自己の特性について肯定的に捉えるとともに、努力することの大切さが分かり、課題に取り組んでいこうとすることができる。
		・学校生活の様々な決まりを知り、教師の支援を受けて決まりを守ることができる。	・基本的なルールや規範が分かり、自らを律することができる。	・社会生活に必要な基本的な決まりや制度、規範が分かり、守ることができる。さらに、支援を受けたり、体験を通じたりすることによって活用することができる。
		・周囲の人と仲良く活動することができる。	・周囲の人と協力して活動し、集団での役割を果たすことができる。	・対面した課題を受容し、周囲の人と協力して改善することができる。
	③ 課題対応能力	・教師と一緒に課題に取り組むことができる。	・試行錯誤しながら、教師と一緒に課題解決の方法を見つけることができる。	・先を見通し、課題解決の方法を自分で考えて行動に移すことができる。
		・活動の最後に頑張ったことを言葉や動作で伝えることができる。	・自分で目標を立て、目標を意識しながら活動に取り組むことができ、振り返りをするすることができる。	・前回の反省や本時の活動に基づいて目標を設定し、目標を意識しながら活動に取り組むとともに、目標に基づいた振り返りを行うことができる。
		・選択肢の中から好きなものを選んだり、色や形、数などに注目して、提示されたものを集めたり、分けたりすることができる。	・具体的な学習や課題解決の経験を通して、生活上必要な知識を知ることができる。	・生活に必要な情報を得る体験を通して、自分に合った内容や情報取得の方法を理解し、活用することができる。
		・教師の言葉掛けで、必要なものを準備したり、使い終わったものを所定の位置に戻したりすることができる。	・活動や作業に必要なものをカード等で確認しながら自分で準備したり、使い終わったものを所定の位置に戻したりすることができる。	・活動や作業に必要なものを自分で判断して準備したり、使い終わったものを所定の位置に戻したりすることができる。
		・1日のスケジュールを教師と一緒に確認しながら活動することができる。	・予定の変更も柔軟に受け入れ、1日のスケジュールに沿って活動することができる。	・1日のスケジュールを自分で設定し、主体的に取り組むことができる。
		・係の仕事や手伝い等を通して、人の役に立っていることに気付くことができる。	・作業学習、校内実習、校外作業等において、働くことへの興味・関心をもつことができる。	・作業学習や現場実習などを通して、具体的な課題に気付き、将来の進路を考えることができる。
	④ キャリアプランニング能力	・身近な地域の生活や家庭の生活と学習を通して、基本的な職業の種類や役割とその大まかな内容が分かる。	・家庭や地域の様子と学習した内容とを結びつけて職業や役割が分かり、卒業後の進路について意識する。	・産業現場等における実習の経験から自分で進路選択ができる。
		・係の仕事や手伝い等の役割を果たし、役に立つ喜びを感じることができる。	・自らの役割を果たすことで、周りの人の役に立っていることを実感することができる。	・自分の役割や働く意義が分かり、働く喜びを理解することができる。
		・買い物にはお金が必要であることが分かり、お金を大切に扱い教師と一緒に買い物をすることができる。	・作業製品などを販売する学習を通して、労働と報酬の関係に気付き、買い物学習を通してお金の大切さや使い方の基本が分かる。	・労働によって賃金を得ることが分かり、金銭を管理するとともに、必要なときは支援者に相談し、計画的に使用することができる。
		・教師と一緒に公共施設や身近な交通機関をマナーを守って利用することができる。	・公共施設等での表示、標識や案内板の意味が分かり、日常生活に深い公共施設、交通機関の利用が自分の生活に必要なことが分かる。	・公共施設や交通機関などを利用する経験を通して、生活に最低限必要な機関や施設、地域資源やサービスなどを一人で利用することができる。
		・教師と決めた簡単な目標を達成することができる。	・学習や生活上の目的を達成するための手順や順序に気付き、身に付けた手順を利用したり、変更したりする経験を積むことができる。	・課題を解決するために自分なりの目標や計画を立て、必要に応じて支援を受けるなどしながら着実に実行し解決していくことができる。



キャリア教育推進体制			
関係機関	外部との連携	校内組織	ツール
ハローワーク 栃木障害者職業センター 障害者就業・生活支援センター 栃木県立県南産業技術専門校 市障がい福祉課 相談支援センター	産業現場等における実習 就業体験学習 職場体験 職場見学 職業ガイダンス ビジネスマナー教室 進路相談会	キャリア教育推進委員会 進路指導部 学習指導部	個別の指導計画 個別の教育支援計画 個別の移行支援計画 キャリア教育到達度チェック表 生活面におけるキャリアスケール

